

優秀賞

UD ダンス

福井県 武生南小学校 五年
田崎 友唯

私は小学二年生からダンスを習っています。そして四年生のときに、そのダンス教室で「UD ダンス」に出会いました。UD ダンスというのは「ユニバーサルデザインダンス」を略したもので、手話で歌詞を、ダンスで音楽を表現するダンスのことです。

そのころの私は、学校の授業で一回手話をやっただけだったので、手話は聴覚障がい者の方と会話するだけのものだと思っていました。しかし、UD ダンスチームに加入して、聴覚障がい者の方に直接指導されている先生から教えてもらっているうちに、手話は言葉を伝えるだけのものじゃないんだなとわかってきました。

私が思う UD ダンスのよさは、「思いを伝えやすい」「打ち解けられる」「つながれる」です。

一つ目の「思いを伝えやすい」は、手話はもちろん、ダンスをすることで、表情や体の動きでも感情をわかりやすく伝えられるからです。

二つ目の「打ち解けられる」は、聴覚障がい者の方と仲良くなりたいと思っても、どうやって伝えたらいいかわからず、なかなか不安で一歩がでないけれど、いっしょに UD ダンスをすることで、自然と交流するきっかけになり、お互いが思いを打ち明けやすい状態になると思うからです。

三つ目の「つながれる」は、いっしょにダンスをしたことで、話すきっかけが前より多くなり、友達になれるチャンスが増えるからです。

最近では、世界的に有名なアイドルが国際手話を使ったダンス MV（ミュージックビデオ）を出して、話題になっています。聴覚障がい者の方にとって、音楽を楽しむということはとても難しく、歌詞を理解してダンスをすることは、もっと難しいこととされていました。

でも、歌詞に合わせた手話でダンスをすることで、すぐに意味を理解できるようになり、いっしょに楽しめるようになったと世界中で喜ばれています。

コロナの影響でマスクが必須になったことで、口もとの動きを見て話を理解していた聴覚障がい者の方々は、コミュニケーションをとるのがとても難しくなったと聞きます。そういう点でも UD ダンスは、これからのコミュニケーション手段として最高ではないかと思います。

私はまだ、同年代の耳の聞こえない方とお会いしたことがないのでわかりませんが、いつか機会があれば、いっしょに UD ダンスをしたいなと思います。そして、世界中で UD ダンスが広まって、言葉がわからなくてもみんなで楽しめたら、差別や偏見のない世界になるのかな、なったらいいなと思います。

そのために私は、UD ダンスが広まるように、まず自分が楽しんで、興味を持ってもらえるような UD ダンスをしていきたいと思っています。